

タイカルク

耐熱ガラス入り特定防火設備
(甲種防火戸)



商業施設
オフィスビル

ガラスはここまで進化しました。

超耐熱結晶化ガラスの特徴

1. 800℃に熱した上で冷水をかけても割れない熱衝撃強度をもっています。
2. 強度アップのためのワイヤは不要。
だからフロートガラスと同レベルの、非常にクリアな視界が広がります。
3. 火に直接かけても割れない「耐熱ガラス」に匹敵する化学耐久性をもっています。

特性	ガラス	超耐熱結晶化ガラス	フロートガラス
光 特 性	可視光線透過率 5mm厚 (%)	87	89
物理特性	密度 (g/cm³)	2.51	2.50

ガラスバリエーション

店舗デザインに合わせて。お好みによって——。2タイプの中からセレクトできます。

ガラスの種類は2タイプ。クリアーで見通しがよい〈透明〉とソフトな採光でやさしいイメージの〈かすみ〉があります。



〈透明〉



〈かすみ〉

設計・施工上の注意

- ガラスの強度は、フロートガラス5mm厚と同レベルです。
- ガラスの切断は、フロートガラスと同じくガラスカッターを使用すればスムーズです。
- ガラスの割れ方は、フロートガラスと同様の放射状です。
- ガラスの曲げ加工はできません。

注意 特定防火設備としての性能確保のため、万一ガラスが破損した場合には、普通の板ガラスを代用することはできません。弊社最寄りの営業所までご連絡ください。ガラス工事は弊社が責任施工いたします。

安全性をここまで配慮しました。

仕様(構成部材) ガラス以外は基本的に工場にて組立ていたします。

- 枠・無目・方立・押縁**…… 溶融亜鉛めっき鋼板1.6t[さび止め塗装](オーダーにより焼付塗装仕上げも可能)
または
ステンレス鋼板1.5t(オーダーにより鏡面・エッチング仕上げも可能)
- くつすり**…… ステンレス鋼板2.0t(くつすりなしも可能)
- 戸当りゴム**…… クロロブレンスポンジゴム
- ガラス**…… 超耐熱結晶化ガラス5.0t

部品に関する制約 タイカルックは特定防火設備個別認定品ですので、部品についても様々な制約があります。

錠前

- Dシリーズ〈v両開き〉・Daシリーズ〈片側常閉両開き・親子開き〉及びSシリーズ〈片開き〉各ドアの錠前は全てラッチ付をご使用ください。
- 引き手(押棒)の場合はラッチ付プッシュプル錠をご使用ください。
- ハンドル、握手、引き手の材質はステンレスのみとなります。
- 電気錠は火災等の停電時には解錠するものをご使用ください。

自動フランス落し(オートフラッシュボルト)

後閉まり扉(親扉)が閉まると先閉まり扉(子扉)の自動フランス落しのボルトが出て、先閉まり扉(子扉)を固定します。また、後閉まり扉(親扉)を開けると、先閉まり扉(子扉)のボルトが引っ込み、先閉まり扉(子扉)は開放可能となります。

- タイカルックDシリーズ〈両開き〉には、先閉まり扉(子扉)の固定に自動フランス落しの使用が義務づけられています。

アーム式閉鎖順位調整器

- タイカルックDシリーズ〈両開き〉には、閉鎖順位を調整するためにアーム式閉鎖順位調整器の取付けが義務づけられています。

フランス落し

- Daシリーズ〈片側常閉両開き・親子開き〉の子扉(常時固定側)には、フランス落しを使用します。ただし、子扉(常時固定側)にクローザ、錠前、ハンドル類、閉鎖順位調整器を取付けることはできません。

シリーズ		D (両開き)	Da (片側常閉 両開き 親子開き)	S (片開き)
部 品				
錠 前	ラッチ錠	○	○	○
吊り金具	丁番(3枚)	●	●	●
	ピボットヒンジ	●	●	●
クローザ	面付ドアクローザ (バニール型)	●	●	●
	コンシールド型 ドアクローザ	●	●	●
	オートヒンジ (丁番型)	●	●	●
	フロアヒンジ (持ち出し吊り型)	●	●	●
自動フランス落し		○	—	—
アーム式閉鎖順位調整器		○	—	—
フランス落し		—	○	—

●…いずれかをご使用ください
○…取付けが義務づけられています

設計上の注意事項 タイカルックの形状、寸法、構成等は本カタログをもとにご設計ください。

- 全て特定防火設備個別認定品です。認定仕様以外の使い方(材質、枠・扉の構造等)では、特定防火設備として認められませんのでご注意ください。
- 枠見込、枠見付、方立、無目寸法等は必要最低寸法を示しています。その他、オーダー設計の場合にはお問い合わせください。
- 取付躯体は耐火構造の壁(1時間耐火以上)とします。乾式、湿式納まりとも可能です。
- ガラス面に飛散防止フィルムを貼付する場合、不燃材のものをご使用ください。(弊社施工範囲外)

それは、あらゆるスペースにマッチするマルチ・ドア。

タイカルックは、バリエーションが豊富で多彩。だからデザインに合わせて、広さに応じて建物のあらゆる

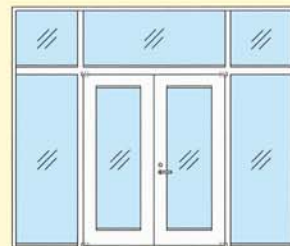
スペースを、明るく開放的に演出します。

タイカルックは4シリーズ・27バリエーション

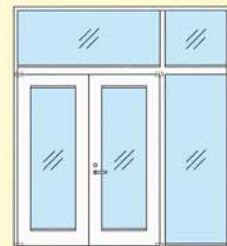
タイカルック *D*

両開き

特定防火設備(甲防)
EA-9155



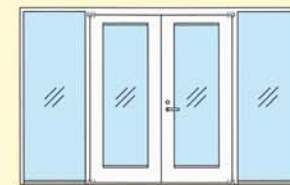
両開き・両袖窓付



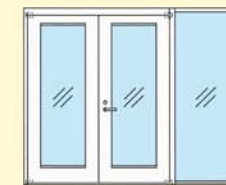
両開き・片袖窓付



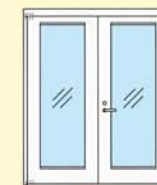
両開き



両袖窓付



片袖窓付

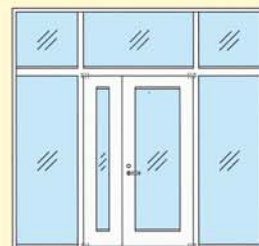


扉単体

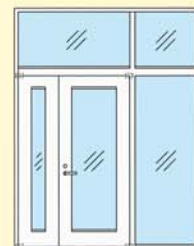
タイカルック *Da*

片側常閉両開き・親子開き

特定防火設備(甲防)
EA-9192



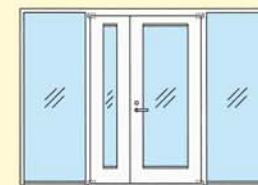
片側常閉両開き・親子開き・両袖窓付



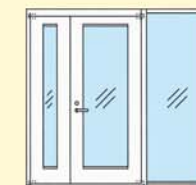
片側常閉両開き・親子開き・片袖窓付



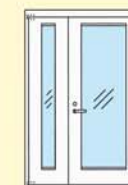
片側常閉両開き・親子開き



両袖窓付



片袖窓付

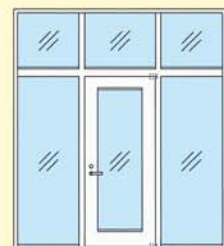


扉単体

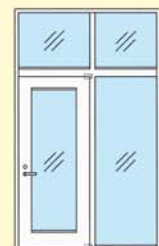
タイカルック *S*

片開き

特定防火設備(甲防)
EA-9146



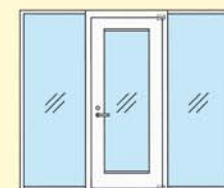
片開き・両袖窓付



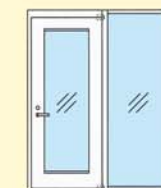
片開き・片袖窓付



片開き



両袖窓付



片袖窓付

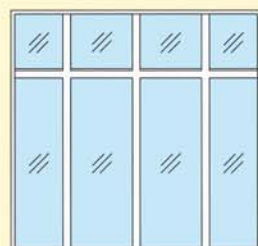


扉単体

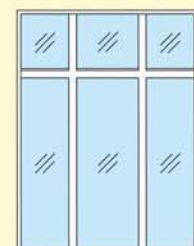
タイカルック *F*

はめ殺し窓(FIX)

特定防火設備(甲防)
EA-9151



はめ殺し窓(FIX)・両袖窓付



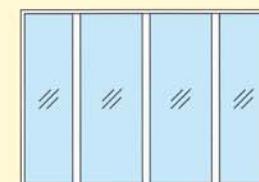
はめ殺し窓(FIX)・片袖窓付



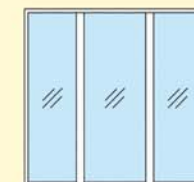
はめ殺し窓(FIX)



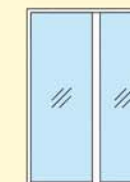
はめ殺し窓(FIX)単体



4連窓



3連窓



2連窓



単窓



横単窓

設計・施工上の注意

- ガラスの強度は、フロートガラス5mm厚と同レベルです。
- ガラスの切断は、フロートガラスと同じくガラスカッターを使用すればスムーズです。
- ガラスの割れ方は、フロートガラスと同様の放射状です。
- ガラスの曲げ加工はできません。



注意

特定防火設備としての性能確保のため、万一ガラスが破損した場合には、普通の板ガラスを代用することはできません。弊社最寄りの営業所までご連絡ください。ガラス工事は弊社が責任施工いたします。



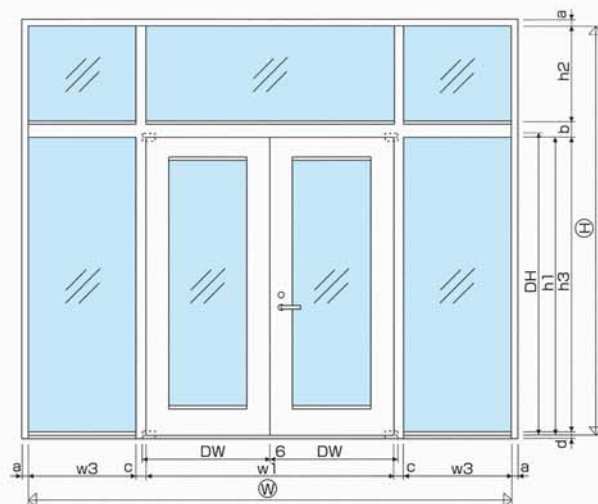
単位:mm

	a	b	c	d	w1	w3	DW	h1	h2	h3	DH
名称	枠幅	無目幅	方立幅	下縁幅	有効開口幅	袖窓幅	扉幅	有効開口高	欄間高	袖窓高	扉高
MIN	25	70	70	40	1000	100	340	1800	100	1760	1806
MAX	300	300	364	300	1800	900	909	2400	1438	2380	2406

※扉 上框・たて框/120mm以上
下框 /150mm以上

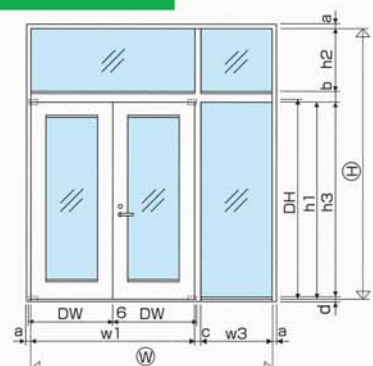
※欄間は1段まで
袖窓は両袖まで(袖窓を片側に2枚以上並べることはできません。)

欄間・両袖窓付



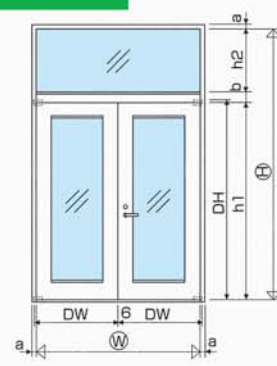
設計範囲	MIN	MAX
W	1340	3740
H	1973	3260

欄間・片袖窓付



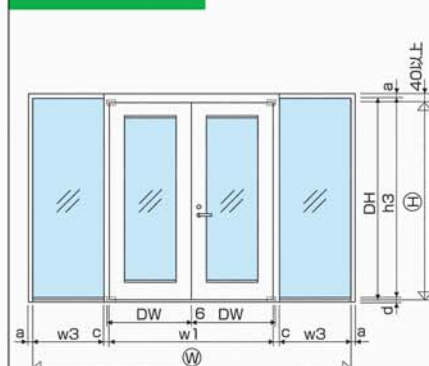
設計範囲	MIN	MAX
W	1170	3049
H	1973	3260

欄間付



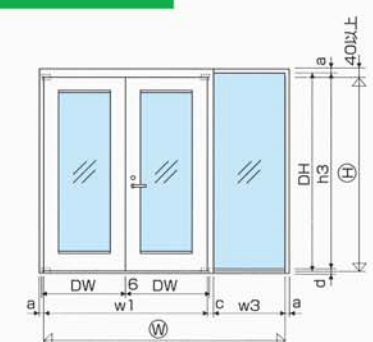
設計範囲	MIN	MAX
W	1000	1800
H	1973	3260

両袖窓付



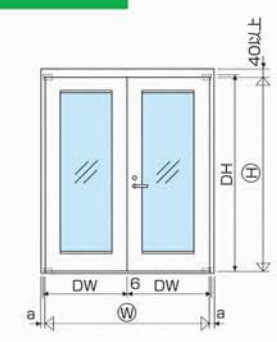
設計範囲	MIN	MAX
W	1340	3740
H	1803	2403

片袖窓付



設計範囲	MIN	MAX
W	1170	3049
H	1803	2403

扉単体



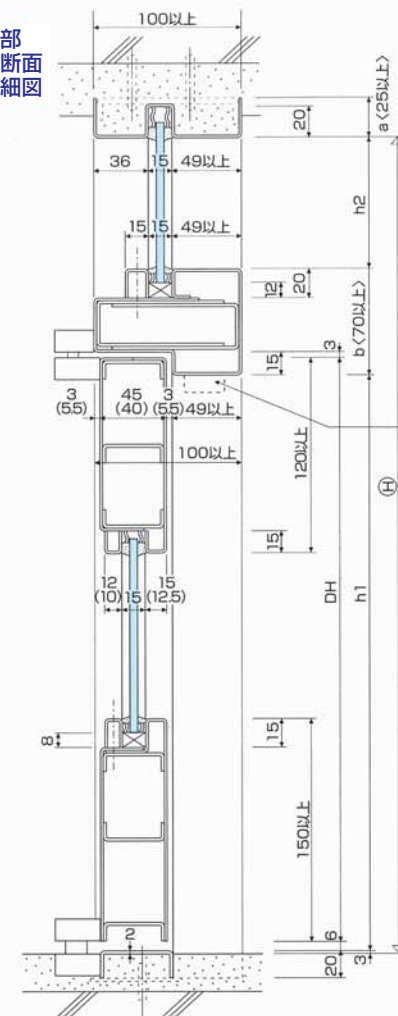
設計範囲	MIN	MAX
W	1000	1800
H	1803	2403

●ドア厚(扉見込)寸法表

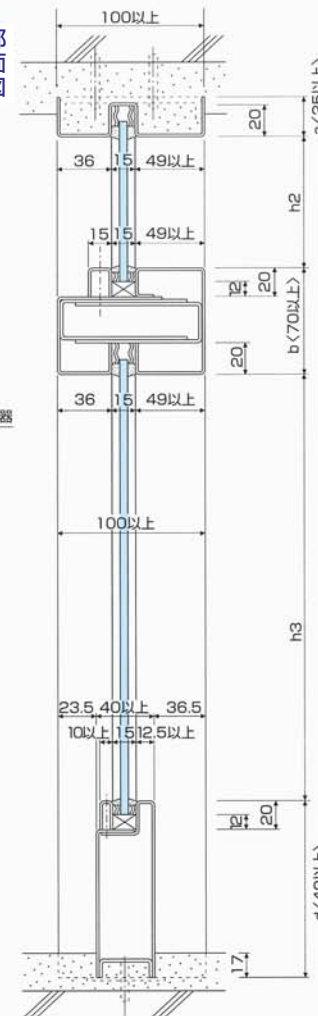
仕様		ドア厚	
		横断面	縦断面
欄間つき	スチール	45	45
	ステンレス	45	40
欄間なし	スチール	40	40
	ステンレス	45	40

《欄間あり》

扉部
縦断面
詳細図

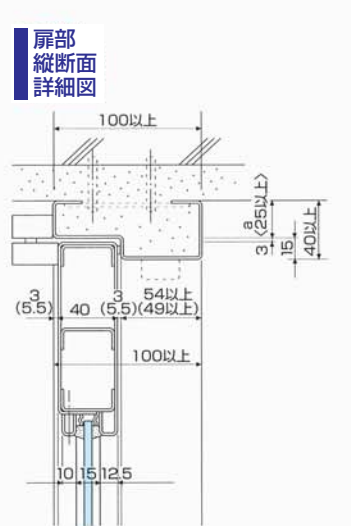


袖窓部
縦断面
詳細図

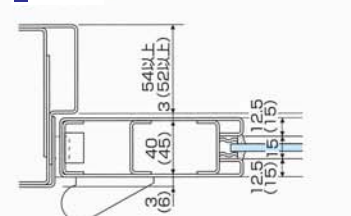


《欄間なし》

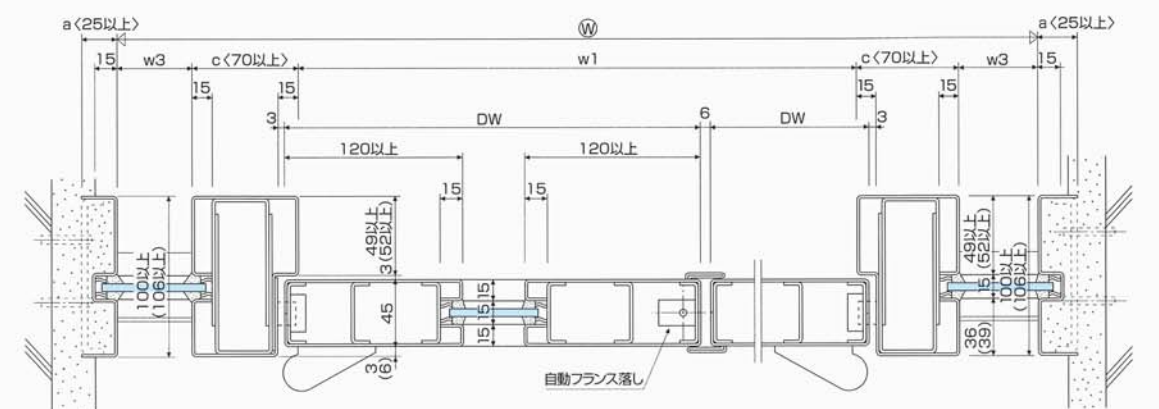
扉部
縦断面
詳細図



扉部
横断面
詳細図



扉部
横断面
詳細図



欄間部
横断面
詳細図



() 内寸法はステンレス仕様の場合を示す

※湿式壁で枠内にモルタルを充てんする場合は、枠の見込寸法を80mmまで縮小できます

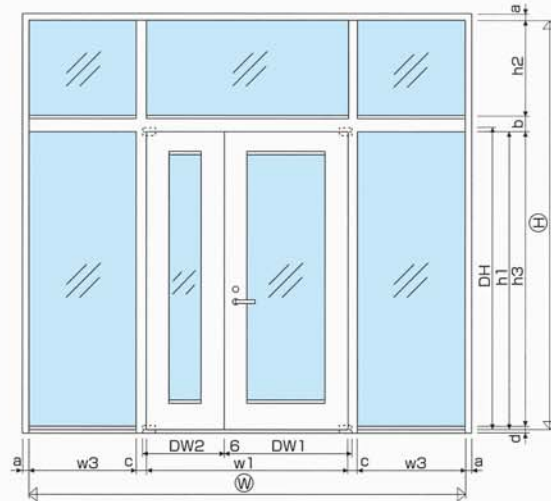
単位:mm

	a	b	c	d	w1	w3	DW1	DW2	h1	h2	h3	DH
名称	枠幅	無目幅	方立幅	下縁幅	有効開口幅	袖窓幅	親扉幅	子扉幅	有効開口高	欄間高	袖窓高	扉高
MIN	25	70	70	40	1000	100	340	340	1800	100	1760	1806
MAX	300	300	364	300	1800	900	909	909	2400	1438	2380	2406

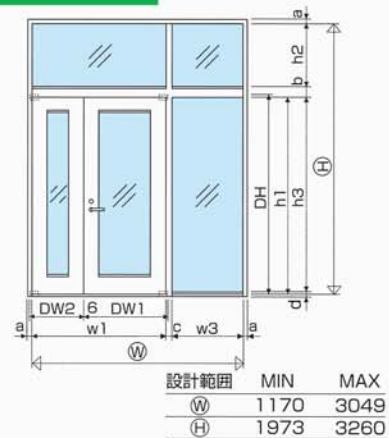
※扉 上框・たて框／120mm以上
下框 150mm以上

※欄間は1段まで
袖窓は両袖まで(袖窓を片側に2枚以上並べることはできません。)

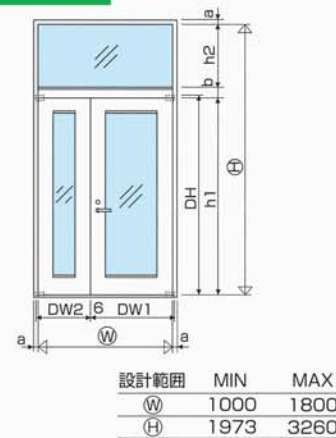
欄間・両袖窓付



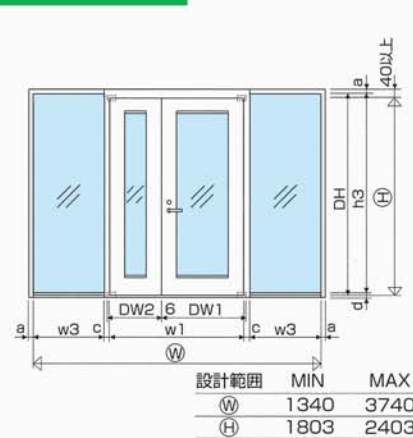
欄間・片袖窓付



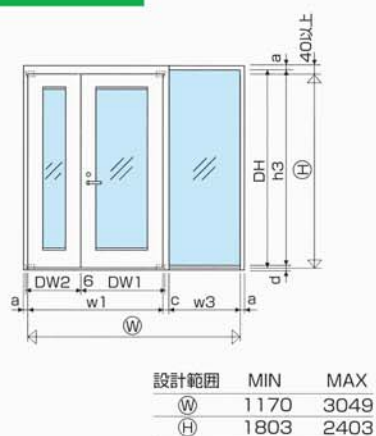
欄間付



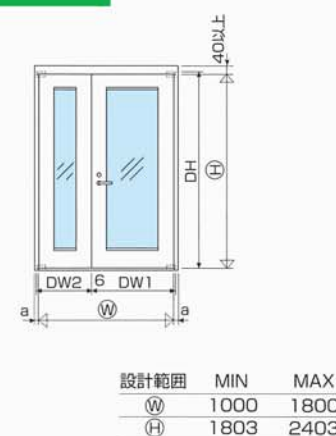
両袖窓付



片袖窓付



扉単体

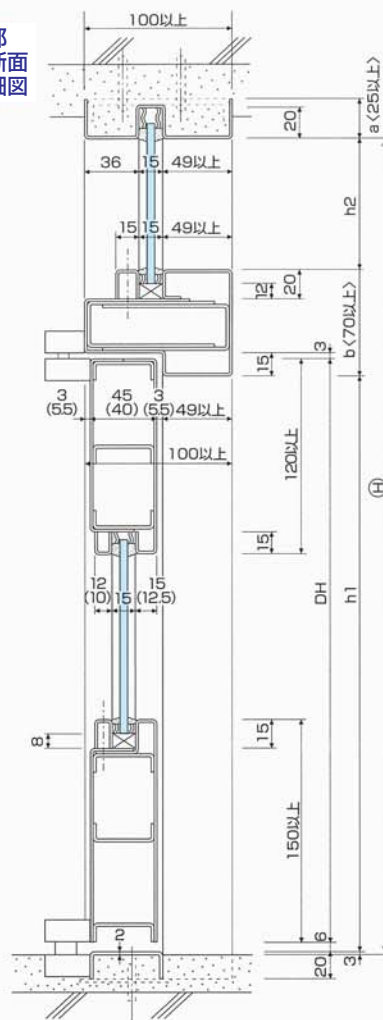


●ドア厚(扉見込)寸法表

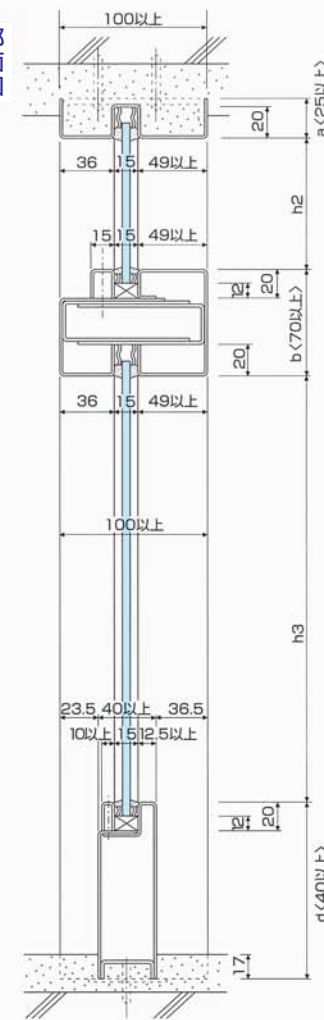
仕様		ドア厚	
		横断面	縦断面
欄間つき	スチール	45	45
	ステンレス	45	40
欄間なし	スチール	40	40
	ステンレス	45	40

《欄間あり》

扉部
縦断面
詳細図

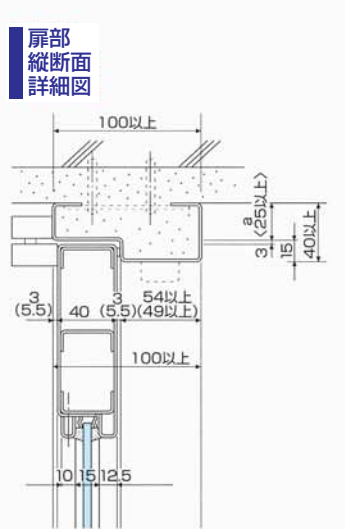


袖窓部
縦断面
詳細図

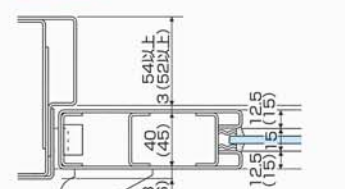


《欄間なし》

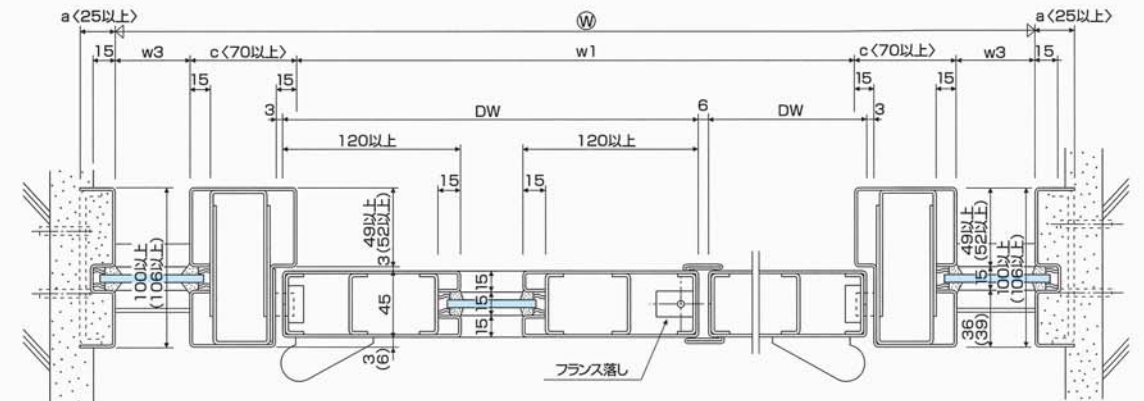
扉部
縦断面
詳細図



扉部
横断面
詳細図



扉部
横断面
詳細図



欄間部
横断面
詳細図



() 内寸法はステンレス仕様の場合を示す

※湿式壁で枠内にモルタルを充てんする場合は、枠の見込寸法を80mmまで縮小できます

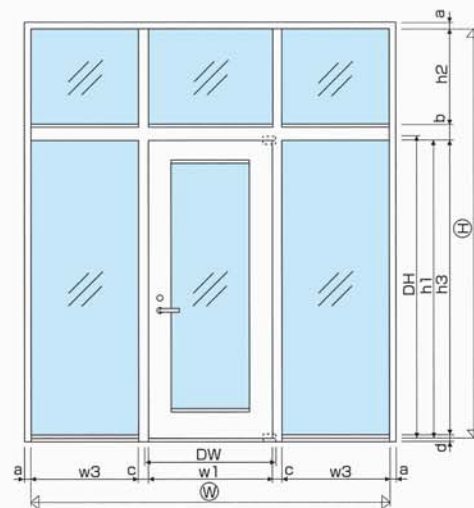
単位:mm

	a	b	c	d	w1	w3	DW	h1	h2	h3	DH
名称	枠幅	無目幅	方立幅	下縁幅	有効開口幅	袖窓幅	扉幅	有効開口高	欄間高	袖窓高	扉高
MIN	25	70	70	40	750	100	773	1800	100	1760	1806
MAX	300	300	364	300	1000	900	1023	2400	1438	2380	2406

※扉 上框・たて框／120mm以上
下框 150mm以上

※欄間は1段まで
袖窓は両袖まで(袖窓を片側に2枚以上並べることはできません。)

欄間・両袖窓付



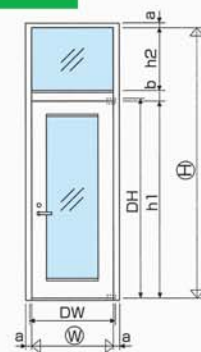
設計範囲	MIN	MAX
W	1090	2940
H	1973	3258

欄間・片袖窓付



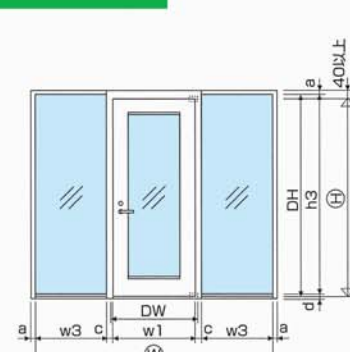
設計範囲	MIN	MAX
W	920	2264
H	1973	3258

欄間付



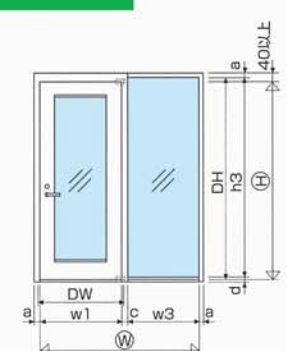
設計範囲	MIN	MAX
W	750	1000
H	1973	3258

両袖窓付



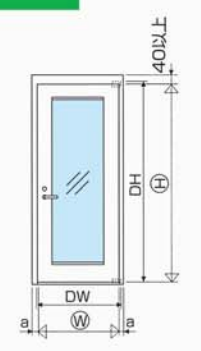
設計範囲	MIN	MAX
W	1090	2940
H	1803	2403

片袖窓付



設計範囲	MIN	MAX
W	920	2264
H	1803	2403

扉単体



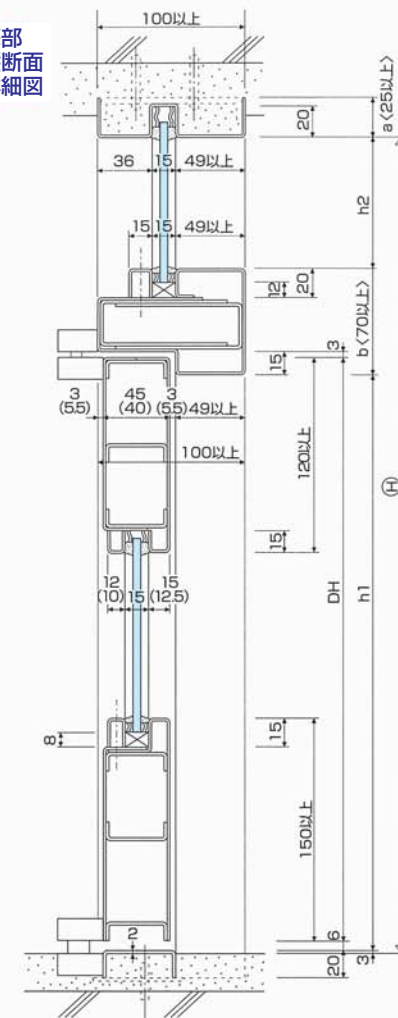
設計範囲	MIN	MAX
W	750	1000
H	1803	2403

●ドア厚(扉見込)寸法表

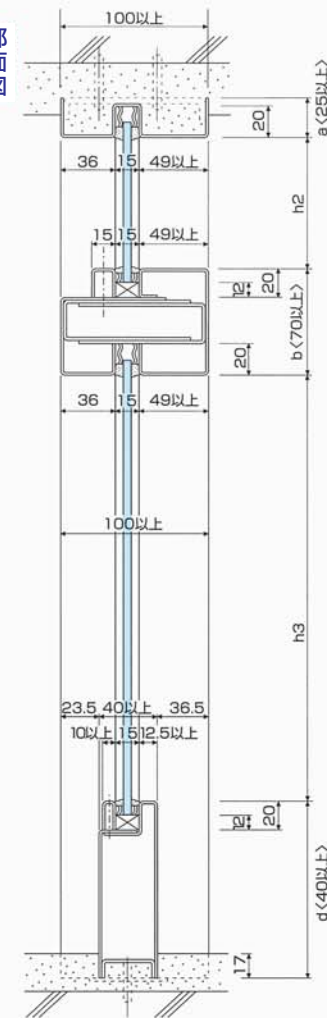
仕様		ドア厚	
		横断面	縦断面
欄間つき	スチール	45	45
	ステンレス	45	40
欄間なし	スチール	40	40
	ステンレス	45	40

《欄間あり》

扉部
縦断面
詳細図

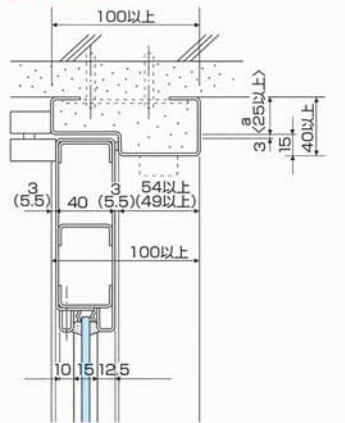


袖窓部
縦断面
詳細図

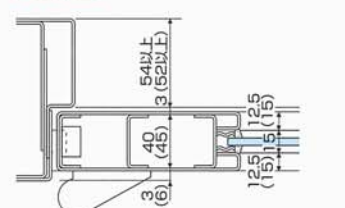


《欄間なし》

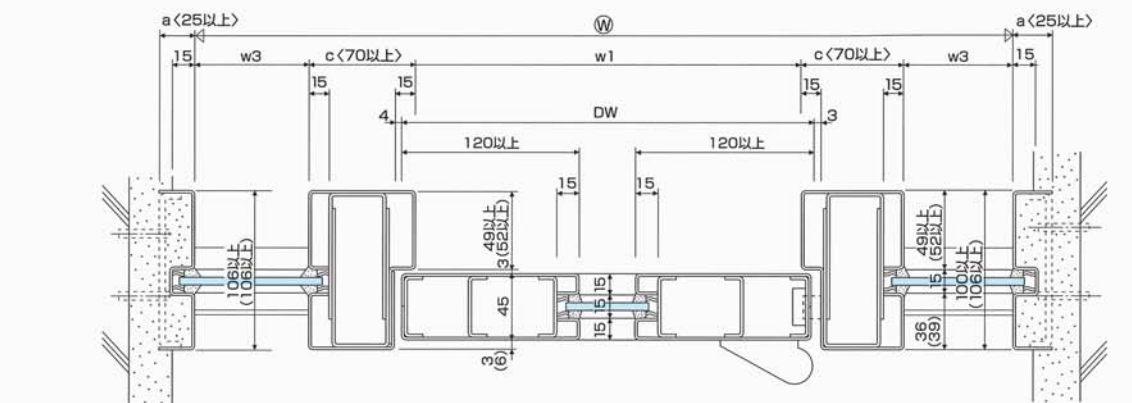
扉部
縦断面
詳細図



扉部
横断面
詳細図



扉部
横断面
詳細図



欄間部
横断面
詳細図



() 内寸法はステンレス仕様の場合を示す

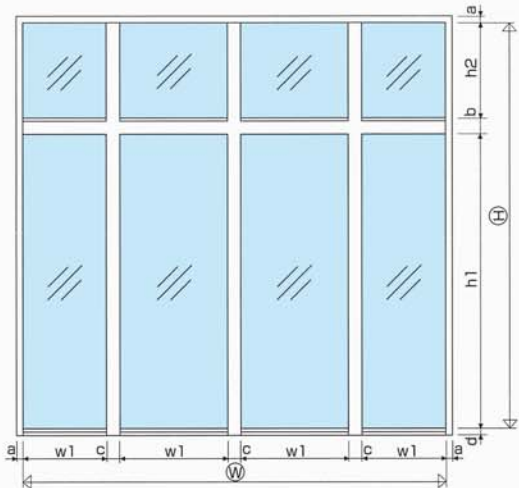
※湿式壁で枠内にモルタルを充てんする場合は、枠の見込寸法を80mmまで縮小できます

単位:mm

	a	b	c	d	w1	h1	h2
名称	枠幅	無目幅	方立幅	下縁幅	有効開口幅	有効開口高	欄間高
MIN	25	70	70	40	100	100	100
MAX	300	300	300	300	900	2400	1412

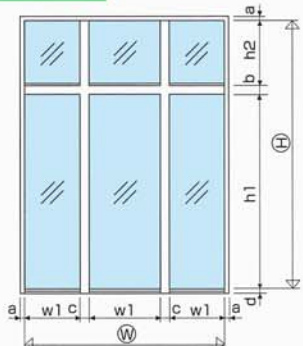
※欄間は1段まで

欄間付4連窓



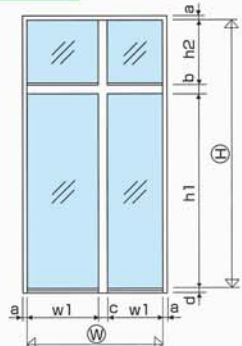
設計範囲	MIN	MAX
W	610	3810
H	270	3235

欄間付3連窓



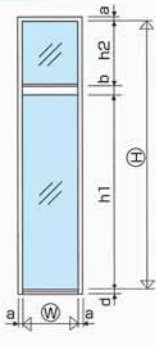
設計範囲	MIN	MAX
W	440	3300
H	270	3235

欄間付2連窓



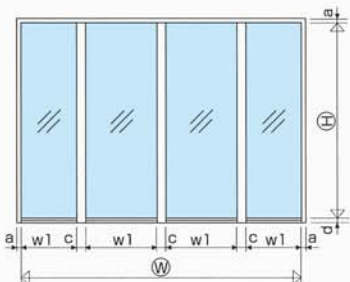
設計範囲	MIN	MAX
W	270	2100
H	270	3235

欄間付単窓



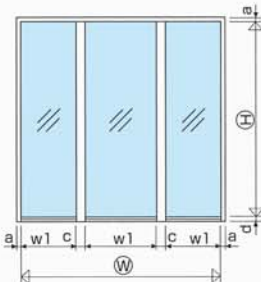
設計範囲	MIN	MAX
W	100	900
H	270	3235

4連窓



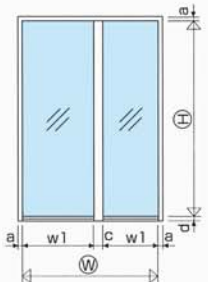
設計範囲	MIN	MAX
W	610	3810
H	100	2400

3連窓



設計範囲	MIN	MAX
W	440	3300
H	100	2400

2連窓



設計範囲	MIN	MAX
W	270	2100
H	100	2400

単窓



設計範囲	MIN	MAX
W	100	900(901~1200)
H	100	2400(1800)

横単窓

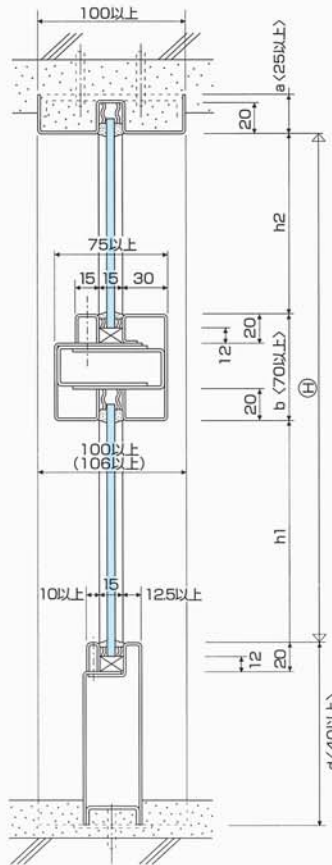


設計範囲	MIN	MAX
W	100	2400(1800)
H	100	900(901~1200)

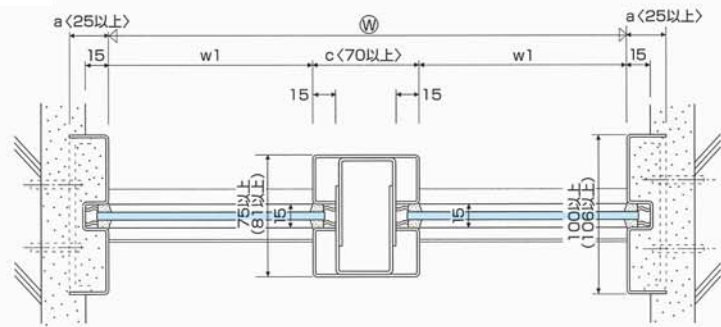
単位:mm

《欄間あり》

縦断面
詳細図



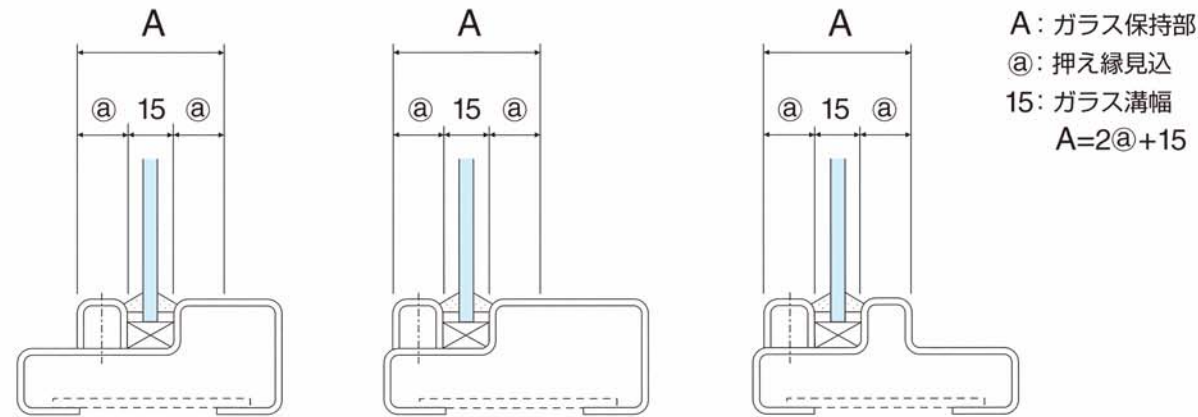
横断面
詳細図



()内寸法はステンレス仕様の場合を示す

ガラス面の移動

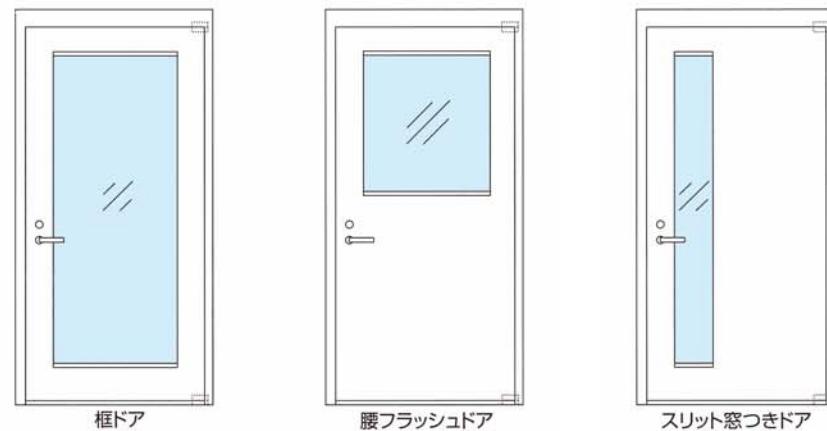
デザイン的に扉部のガラス面と窓部をそろえるために、枠見込の範囲でガラス面（ガラス溝）を移動させることができます。その場合、下記のガラス保持部（A寸法）を確保してください。



※押え縁見込（a寸法）は各シリーズの縦断面詳細図を参照願います。

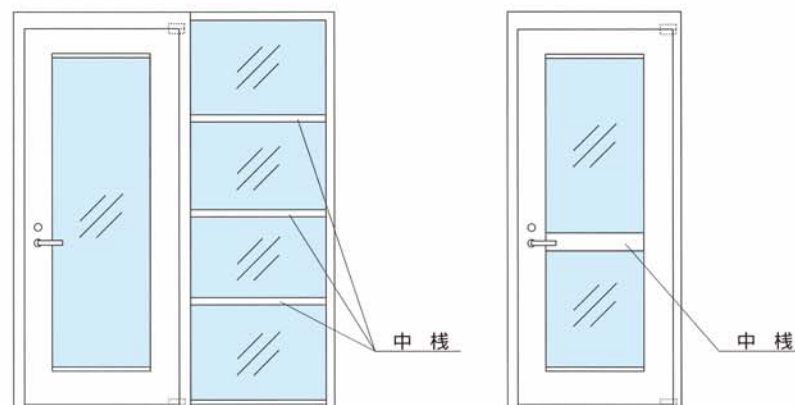
窓形状のバリエーション

扉部のガラス窓については、枠タイプ以外にもスリットタイプや腰フラッシュタイプなど、設計範囲において任意の形状・サイズで設計できます。ただし、上框・たて框の寸法を120mm以上、下框の寸法を150mm以上確保してください。



中棧の設置

框ドア及び窓部には、設計範囲の中で中棧を設けることができます。（複数可）ただし、見付けや見込の寸法・形状については認定仕様に準じます。



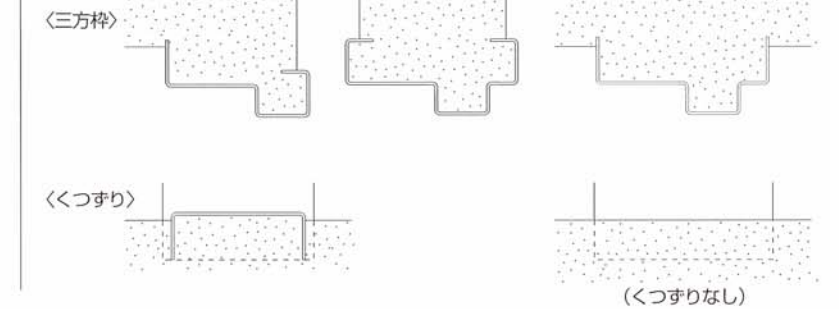
納まり参考図・枠バリエーション

■D・Da・Sシリーズ

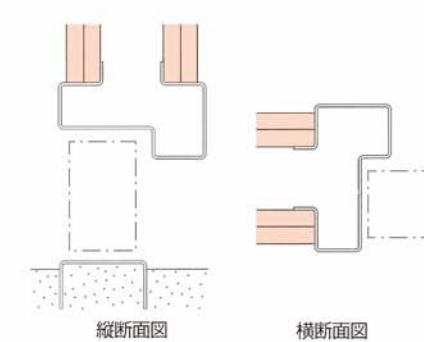
●RC納まり



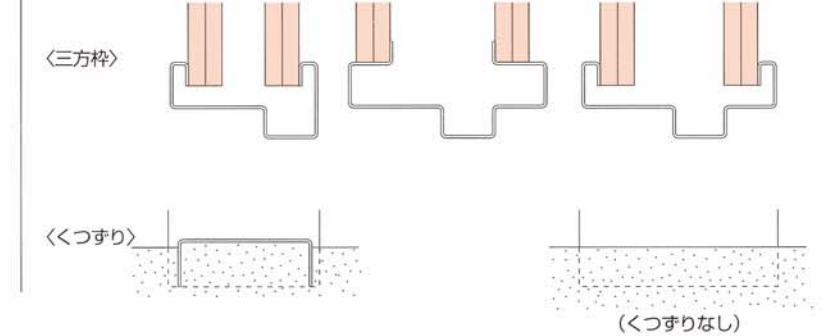
枠バリエーション



●乾式納まり

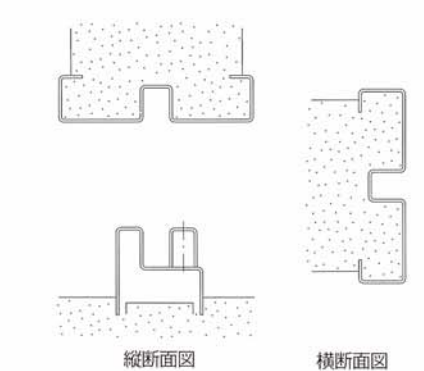


枠バリエーション



■Fシリーズ

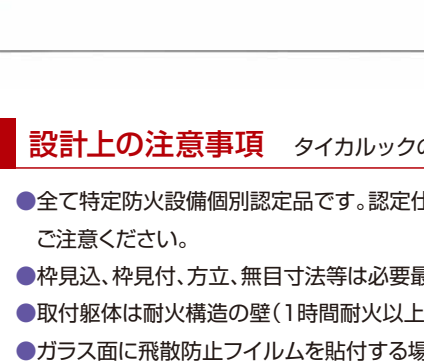
●RC納まり



枠バリエーション



●乾式納まり

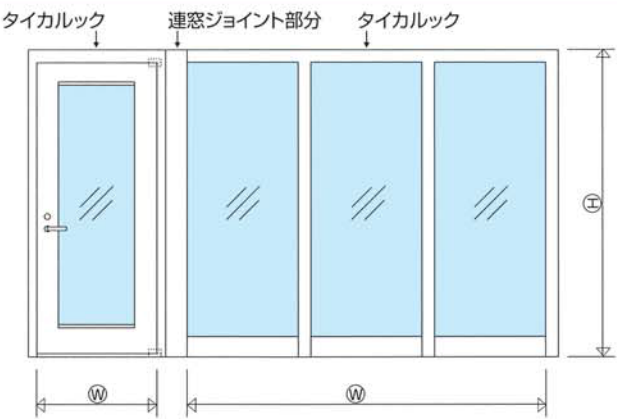


設計上の注意事項 タイカルクの形状、寸法、構成等は本カタログをもとにご設計ください。

- 全て特定防火設備個別認定品です。認定仕様以外の使い方（材質、枠・扉の構造等）では、特定防火設備として認められませんのでご注意ください。
- 枠見込、枠見付、方立、無目寸法等は必要最低寸法を示しています。その他、オーダー設計の場合にはお問い合わせください。
- 取付躯体は耐火構造の壁（1時間耐火以上）とします。乾式、湿式納まりとも可能です。
- ガラス面に飛散防止フィルムを貼付する場合、不燃材のものをご使用ください。（弊社施工範囲外）

単位:mm

タイカルク各シリーズ連窓ジョイント部分 横断面参考図

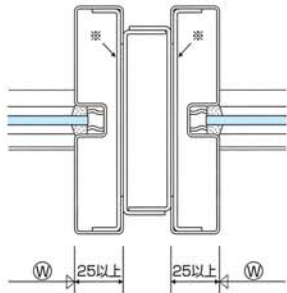


■アトリウム吹き抜け部の縦穴区画等スクリーンやパーティションの一部として連続使用し、防火区画を形成することができます。

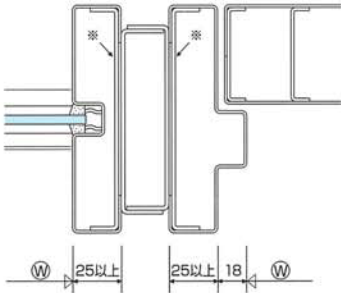
■D・Da・S・Fシリーズのどのタイプとでも組み合わせが可能です。

■直線納まり

●Fシリーズ + Fシリーズ



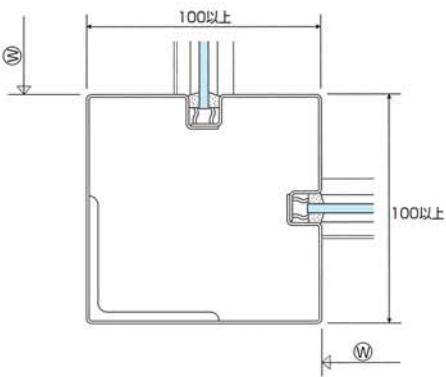
●Fシリーズ + D・Da・Sシリーズ



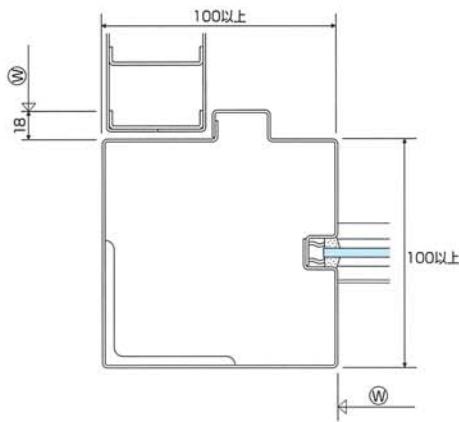
※通し材とする

■コーナー納まり

●Fシリーズ + Fシリーズ

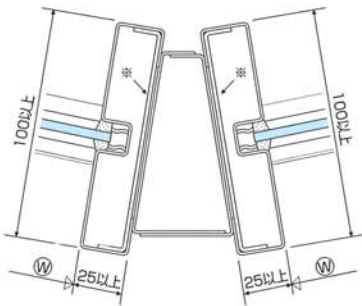


●Fシリーズ + D・Da・Sシリーズ

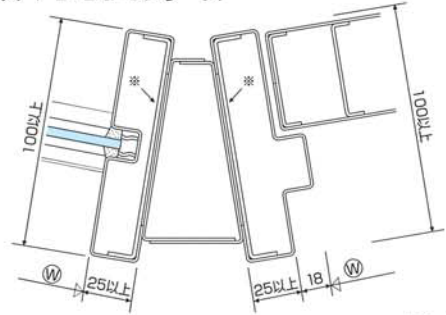


■角度つき納まり

●Fシリーズ + Fシリーズ



●Fシリーズ + D・Da・Sシリーズ



※通し材とする